



技術 知識を学ぶだけでなく、人と
して大きく成長できたと思います」
——デビュー——
「プロのボートレーサーとしてデ
ビューが決まったときは、『女子ナ
ンバー1レーサーになる！』と、よ
くまわりに言っていました。その
ために、早く1着がとりたいとい
う気持ちでいっぱいでした。そう
いう意味では、デビュー当時は自
分のことはかり考えていたよう
に思います。自分のために走って
いるという感覚でした。いまはデ
ビュー当時と違い、『お客さんのた
め。私に期待してくれる人たちの
ために走る』という気持ちが強く
なりました。その分プレッシャー
を感じることも多くなりましたが
、勝利に対する想いもより強く
なったと感じています」

事務職からボートレーサーへ。
性別関係なく同じステージで競いあえる
ボートレーサーという夢に挑戦して本当によかった。

ボートレーサーの活動内容とは？
「抽選によって与えられたボートと
エンジン、プロペラを、レース本番
に向けて自分で調整をします。エン
ジンの特性をしっかり見極めて、天
候、気圧や湿度、波や風の流れに合
わせて調整することを求められま
す。調整して実際に走ってみて、再
度調整をする。何度も何度もそれを
繰り返して、調整しながらエンジン
と会話をするような感覚ですね。細
かい作業になりますが、調整したエ
ンジンと天候、自分の走りがぴった
り合ってしまったとき、イメージ通り
のレースができます」

「整備不良によって3ヶ月の出走停
止になってしまったことです。階級
も下がってしまったので、メンタル
的にも落ち込みました…。いまは、
『これから絶対に這い上がってやる
ぞ！』という思いです。つらいとき
こそ、強い気持ちをもって前向きに
取り組むことが必要だと思っています。
反省はもちろんです。それが臆
病になるのではなく、失敗を恐れな
い強い気持ちも大切にしています」
——やりがい——
「いままでで一番うれしかったのは、
やっぱり優勝できたときです。
日々の練習による技術の向上の積
み重ねによって、以前は遠い夢だっ

た優勝が、自然と具体的な目標へと
変わっていました。初優勝したとき
のレースはよく覚えていて、いい緊
張感のなかでレースに挑むことが
できました。レースがスタートして
1つ目のターンを終えたとき、もう
まわりに人はいませんでした。その
レースはそのままイメージ通り優
勝することができ、大きな自信につ
ながっています」
ボートレーサーの魅力とは？
「性別関係なく、同じステージで競
いあえることが魅力ですね。あと
は、悔しさと楽しさをたくさん経験
することができる職業です。毎日
が挑戦できる環境で、自身を成長さ
せることもできると思います。私は一
般職に就いたこともありましたが、
ボートレーサーという夢をあきら
めずに挑戦して本当によかったと
思います」



——メッセージ——
「やりたいことがある人は、あきら
めずに夢に向かって頑張ってくだ
さい。私もボートレーサーにすぐな
れたわけではありません。ボート
レーサーになりたいという強い想
いがあったからこそ、あきらめずに
努力することができました。夢を実
現したいまでも『女子ナンバ
ー1レーサー』という目標に向かって
走っています。もし、少しでも興味
をもっていたら、ぜひ私の
レースを見てみてください。きっと
新しい世界が見つかると思います」
——ありがとうございました——

出口 舞有子

さん(1992年生まれ)

愛知県立尾北高校 出身 青山女子短期大学 卒業



自分
の
年
代

17歳

↓

21歳

↓

30歳

カナダ留学によって英語や異文化交
流をおこない、積極性を身につける。

ボートレーサー養成所に入所。礼と
節を学び、レーサーとしてだけでな
く人として大きく成長する。

優勝や挫折を経験。女子ナンバ
ー1レーサーをめざし奮闘中。



YOUTH
ユースフラッシュ
FLASH

尾張出身の有名人インタビュー

尾北高校出身のボートレーサー、出口舞有子さんを独占取材！

短大卒業後は事務職として一般企業に就職するも、ボートレーサーという夢をあきらめずに挑戦を続けた出口選手。その後、夢を実現することになります。デビュー後は、挫折をしながらも優勝を経験。そんな出口選手にボートレーサーの苦労、そして魅力を聞いてきました。

——高校時代——
「高校時代はカナダのバンクー
バーに留学をしたことが1番の思
い出です。ホームステイ先がバン
クーバー在住の中国人の方だった
ので、普段の会話は中国語を中心で
した。家のインテリアや雰囲気も中
華系だったので、いろんな意味で異
文化にふれることができたと思い
ます(笑)。留学を通して学んだのは
積極性ですね。自分から考えている
ことをちゃんと発信して伝え、アク
ションを起こしていくことが大切
だと学びました」
短大時代について教えてください。
「高校卒業後は、英語を学ぶため、青
山女子短期大学の文学部英米文学
科に進学しました。短大時代は、海
外旅行にたくさん行きました。ア
メリカには何度も行きましたし、ハ
ワイでは現地で友達もできて楽し
かったですね」
楽しい短大生活を送るなかで、ボー
トレサーをめざしたのは？
「たまたま友人に連れられてボート
レースを観戦し、男性レーサーに
混じって戦う女性レーサーの姿に
憧れを抱いたのがきっかけです。一
般的に不利と言われる外側のコー
スからスタートし、競いあいながら
も見事1着をとった女性レーサー
のかっこよさに衝撃を受けました。
『私もボートレーサーとして活躍し
たい！』と思い、すぐに日本唯一の
養成機関である『ボートレーサー
養成所』の試験を受けることを決め
ました。ただ、残念ながら結果は不

合格となり、短大卒業後は愛知県内
の企業で事務職として就職をし
ました」
——ボートレーサーへの道——
「一般企業に就職はしましたが、ど
うしてもボートレーサーという夢
があきらめきれず、仕事をしながら
入所試験に向けた勉強や体力づく
りなどの準備をおこないました。2
度目の挑戦で無事に合格すること
ができ、私のボートレーサーとして
の人生がスタートします」
入所試験について教えてください。
「視力や身長体重などの制限をクリ
アできればあとは一般的な学科試
験と体力測定に合格するだけです。
基本的な制限さえクリアしていれ
ば、誰にでも挑戦できるところがこ
の業界の魅力だと思います。2度目
の試験で合格した私の感想として
は、『ボートレーサーになりたい！』
という強い気持ちがあればきっと
合格できると思いますよ。養成所
での生活はとても厳しいですが、それ
以上に魅力的な職業だと思うので
、もっと多くの方に挑戦してほしい
ですね」
養成所での生活を教えてください。
「朝起きてすぐにTシャツ一枚で外
で体操をするんです。私は寒いのが
苦手なので、それが本当につらかつ
たのを覚えています。また、ボート
レースは『礼と節』の精神をとても
重視しています。あいさつをしっか
りするなど、普段の生活を整え、節
度をもって生きるということを学
びました。ボートの操縦や整備の

生地成形は、気温や湿度に左右される
繊細な仕事。経験と感覚が頼りです。



星野 一喜さん(1999年生まれ)
愛知県立稲沢高校 出身

松永製菓株式会社

小牧市大字西之島330
<https://www.matsunaga-seika.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→菓子メーカーに就職→製造チームに配属

——学生時代

「稲沢高校園芸科で、農業を学んでいました。お米やブロッコリー、キャベツなどを自分たちで育て、地元の人たちに販売したり、苗から育てたサツマイモを近所の幼稚園児たちと一緒に掘ったりといった活動が、今でも記憶に残っています。同時に農業の厳しさも思い知り、半端な気持ちではやっていけない大変な職業だと実感しました」

——仕事について

「高校に求人が来ていたことがきっかけで松永製菓に興味をもちました。『しるこサンド』は地元でも有名なお菓子でしたし、当時ちょうど80周年を迎え、長く続く企業なのだなと思い採用試験に挑戦しました」

入社当初のことを教えてください。

「入社後すぐに研修があり、生地を混ぜるミキサーや成形などの現場を体験。1年目は、一度に200kgもの生地を混ぜる大きなミキサーの担当になり、油・水・香料・小麦粉などの原料を混ぜて生地をつくることが主な業務でした」

現在の仕事内容を教えてください。

「クッキーとビスケットをつくる工場のラインで成形を担当しています。工場では、ミキサーでお菓子の原料を混ぜ、できた生地を供給機で運んでカットした後、成形機で形を作り、オーブンで焼きます。その後、製品一つひとつの形や重さが規格に合っているかを確認し、包装して初めてみなさんの良く知ってお菓子の姿になります」

——やりがい

「ビスケットやクッキー生地の成形はとても繊細な仕事です。季節やその日の気温・湿度によって生地の状態が変わり、焼き上がりに大きな違いが出るため、生地の練り具合にとても細かい調整が必要になります。焼き上がりの重さや形を測って、その都度調整するのですが、とても感覚的なものなので、はじめは経験が足りず上手くできないこともありました。状況に合わせて、すぐに生地を良い状態に調整することができたときは、今でもとても嬉しいですね。また、自分が携わった商品をスーパーなどで見かけるときも、やりがいを感じています」

大切にしていることは何ですか？

「安心・安全な製品をお届けできるように、現場でのさまざまなチェックを怠らずに製品をつくることです。また、入社してすぐのころには、先輩から『工場は大きな機械などが多い、ひとつ間違えば事故につながる危険性がある』と教わりました。気を抜かず、安全面にも気をつけるようにしています」



——なるためには

「入社するにあたって特に資格や特別な知識・技術などは必要ありません。食品を扱うので、食に興味があると役に立つはずです。また、工場のラインでは、立ち続けて作業することが多いので、体力もあるといいですね。僕は、高校時代をなんとか過ごしてしまった経験があるので、今から振り返ると、もっといろんなことを頑張っておけば良かったなと思います。高校生のみなさんは、ぜひ勉強も遊びも頑張って、高校生活に毎日全力で取り組んでください。応援しています！」

ありがとうございました。



自分
の
経
験

18歳 高校卒業後、松永製菓に入社。製造チームに入りミキサー担当になる。

19歳 クッキー・ビスケットの成形担当に。生地づくりの繊細さと難しさを知る。

22歳 経験を重ね、感覚的な調整もできるようになる。さらなるステップアップをめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



人生の演出家になれることに
誇りをもって日々の仕事に取り組む。

中野 滉大 さん (1998 年生まれ)

愛知黎明高校 出身

同朋大学 社会福祉学部卒業

社会福祉法人貴和会

名古屋市千川区日吉町 22-2

<https://www.kiwakai.org/>

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→福祉関係のことを学べる大学に進学→
介護福祉士の資格取得→福祉施設に就職

——学生時代

「バスケットボールの強豪校だった愛知黎明高校に進学し、高校時代は部活に熱中していました。スポーツ科は午前中が授業で午後からは部活になるので、バスケの思い出がほとんどですね。進路に迷っていたとき、介護施設の管理の仕事をしている父に人生相談したら、『福祉が向いているんじゃないか?』と言われて興味をもつようになりました。高校卒業後、同朋大学社会福祉学部に進学しました」

大学時代について教えてください。

「大学で学んだのは、高齢者福祉や障害者福祉について、介護知識、病気にすることなど。国家試験に合格し、介護福祉士の資格を取得することもできました。大学在学中に1年間、障害者施設でアルバイトを経験したことも福祉に対する意識の面でプラスになっています。将来の自分のためにも、高齢者福祉と障害者福祉の両方の知識・経験を得たいと思い、就職は特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人貴和会に就職しました」

——仕事について

「具体的な仕事内容は、車椅子からベッドへの移乗、食事や入浴、排泄の介助などの身体介助が中心です。それと同時に、利用者さんとコミュニケーションをとりながらその日の体調を感じとるようにしています。最近は車椅子の整備も任されるようになり、この施設の車椅子はほとんど僕が整備しているんですよ」

心がけていることは?

「どんなときでも絶対に嫌な顔をしないことです。利用者さんはとても敏感なので、私たちのちょっとした雰囲気や顔から不安になり、予期せぬトラブルにつながってしまうことがあるんです。常に笑顔で冗談を交えながら会話をするように心がけています。そんな僕の様子を見た利用者さんが、『またあいつぶざけるよ』って笑ってくれるくらいが自分のキャラクターにも合っていてちょうどいいかなって(笑)。怒っていた利用者さんも、それを見て自然と笑顔になったりするので、その笑顔を見るとうれしい気持ちになりますね」

——やりがい

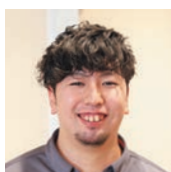
「これは僕の持論なんですけど、高齢者施設は、人生の最後を楽しく過ごしてもらい終わり方を演出する仕事。一方、障害者施設は、これからの人生を彩っていくための支援をする仕事。福祉の仕事に対して、そういう思いも芽生えてきました。この仕事を通して、人生の演出家になれることに誇りをもって働いています」



——なるためには

「介護福祉士の資格があると役立つ場面がありますが、資格はなくても働くことができますよ。あとは、ゲームや買い物家族と過ごすなど、自分なりのリフレッシュ方法をもっていいですね。僕は『あきらめなければ何かが起きる』ということを実感しています。勉強が苦手だった僕が大学まで進学できたのも、バスケをあきらめずに続けてきたから。その後も、介護福祉士の夢に向かって突っ走ってきました。みなさんもあきらめずに頑張れば明るい未来がきっと待っています!」

ありがとうございました。



自分
史書

18歳

↓

22歳

↓

24歳

父の影響もあり、福祉の道に進む。高校卒業後、同朋大学へ。

障害者施設でのアルバイトを経験。その後、介護福祉士の資格を取得。

利用者さんの笑顔にやりがいを感じ、自身も元気な笑顔で仕事に励む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



一生懸命お客さまと向き合えば、
必ず心のつながりができる仕事。



柴田 陽平 さん(1985年生まれ)

中部大学春日丘高校 出身

中部美容専門学校 卒業

haruiro hair

名古屋守山区上志段味稲堀田新田 1931-1
https://haruirohair.com/

なるためには

- 必要資格 / 美容師免許
- 主な進路 / 高校卒業→美容専門学校に進学→国家試験に合格し美容師免許を取得→ヘアサロンに就職→アシスタントとして下積み→スタイリストデビュー

——学生時代

「高校は男子が多いクラスだったの
で、いつも仲間とふざけあって遊ん
でいました。親戚が建築関係の仕事
をしていたことがきっかけで建築
に興味をもち、建築学科のある大学
に進学。構造設計について学び、友
達と過ごした4年間はとても楽し
かったです」

——仕事について

「大学卒業後は自動車関係の企業に
就職し働いていましたが、ある時
『自分の本当にやりたいことってな
んだらう?』と疑問を覚えるようにな
りました。そんなとき、高校生の
ころから髪を切ってくれていた美
容師さんがすごく楽しそうに仕事
をする姿を見て、衝撃を受けたので
す。美容師は以前から良いなと思っ
ていた職業でしたが、そのとき『楽
しく働きながら、人をキレイに、元
気にできる仕事』ってすごい!と強
く思いました。未経験でサロンの採
用試験を受け、面接で熱意を伝えた
ところ、働きながら美容学校に通う
という条件で採用してもらえ、こ
とになりました」

——新人時代のことを教えてください。

「春日井にあるサロンで、4歳年下
の同期たちと一緒に、シャンプーな
どのアシスタント業務をしながら、
サロンの教育カリキュラムを受け、
スキルアップをめざしていました。
先輩も年下で、同期の中でも一番経
験が少なかったため、朝は早く来て
練習、夜も誰よりも遅くまで残って
練習!という日々でした」

大変なことは何でしたか?

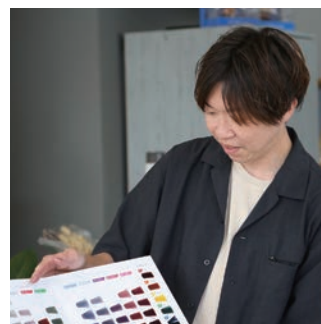
「サロンが休みの月曜と火曜は、中
部美容専門学校の通信課程に通い、
美容師の基礎的な知識と技術を学
び、国家試験へ向けて勉強してい
ました。でも大変だと思ったことは
一度もなく、自分で決めて好きで
やっていることだったので、いつで
も楽しかったです。入学から3年後
に美容学校を無事卒業し、国家試験
にも合格。晴れてスタイリストデ
ビューしたのは28歳のときでした」

独立したのはいつですか?

「35歳で独立して『haruiro hair』を
開業。お世話になったサロンで教
わった『一生懸命お客さまと向き合
えば必ず心の繋がりができる』とい
う言葉は今でも大切にしています」

——やりがい

「髪をキレイにして喜んでもらえる、
直接感謝の言葉をもらえることは
もちろんですが、それ以上に、仕事を
通して人と人とのあいだに深いつ
ながりができていくことに幸せを
感じています。ここに来たら、髪も心
も癒される、そんな風に思ってもら
える場所にしていきたいです」



——なるためには

「高校卒業後に美容専門学校に通
い、国家試験に合格し美容師免許を
取得してサロンに就職するのが一
般的ですが、サロンで働きながら美
容専門学校の通信課程で学ぶとい
う選択肢もあります。技術が身につ
くスピードが格段に速いのですぐ
に活躍したい!と思っている人に
はおすすめです。美容師は、頑張れ
ば頑張るだけ、自分の幸せにつな
がる仕事。毎日の充実感が違います!
高校生のみなさんは、自分の人生を
必ず自分で選択してくださいね。自
分次第で結果は変わってきます!」

ありがとうございます。



24歳



28歳



36歳

サロンへの入社と同時に、中部美容専門学校の通信課程に通い始める。

国家試験に合格し美容師免許を取得。スタイリストデビューを果たす。

大好きな地元でサロンをオープン。お客さまとのつながりを大切にする日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



営業は『自分を売る仕事』。だからこそ、
コミュニケーションが何よりも大切。



丸井 康平 さん (1996年生まれ)

愛知県立一宮興道高校 出身

中部大学 工学部卒業

マスプロ電気株式会社

日進市浅田町上納80

<https://www.maspro.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→電機メーカーに就職
→IoT営業部に配属

——学生時代

「高校時代はバレーボール部とJRC部というボランティアをする部活に所属していました。3年の体育祭で優勝した時のクラスメイトとは絆が深まり、今でも仲が良いです。当時からパソコンが好きで、プログラムやシステム関係の仕事に興味がありました」

大学時代のことを教えてください。

「中部大学工学部情報工学科でパソコンを使ってシミュレーションプログラムを組んだり、画像認識をしたりする技術を学びました。卒業論文では同じゼミの仲間たちと協力して『車線変更を何度すると車両の渋滞緩和につながるのか』というテーマでシミュレーションプログラムを組み、実験を重ねました。就職活動でプログラム関連の学びを活かせる仕事を探していたところ、出会ったのが現在の職場であるマスプロ電気でした。戸口(※1)などの新しい技術に挑戦している点に惹かれて、入社を決めました」

——仕事について

「入社後1ヶ月間は新入社員研修や、様々な部署についての勉強をしました。その後、社内のネットワークやシステムを管理する『情報システムグループ』に配属。社内の販売管理システムの管理やデータ打ち込みのほか、全国の営業所からの問い合わせの対応などが主な業務でした。翌年、IoT営業部に配属され、営業としての仕事がスタートしました」



仕事内容を簡単に教えてください。

「お客様のお悩みに対して、電波を使ったソリューション(解決策)を提案する仕事をしています。工場の棚卸しや在庫管理、入出庫管理などの全てをパソコンやタブレット端末上でデータ管理することができる戸口(自動認識技術や、ガス・水道・温度・湿度・酸化炭素濃度などのセンサー情報を遠隔で管理できるLPWA(※2)という通信技術などを扱っています。機器設置、システム導入後のメンテナンスも大切な業務のひとつです」

——やりがい

「お客様の悩みごとを解決するためにマスプロ電気の製品やシステムを駆使して最適と思われるプランを構築しても、いざ現場に行くと、電波を遮るものが多いなど、様々な理由でうまくシステムが稼働しないことがあります。何度も壁にぶつかりながら時間をかけて作り上げたシステムが、お客様の役に立ち、現場の方から『便利になったよ』『時短になったよ』と喜んでいただけた時は、とてもやりがいを感じます」

——なるためには

「無線の資格や自動認識技術の資格など、この仕事をする上で取得しておくに立つ資格はいくつかありますが、これらは入社した後でも取得できるものです。僕は大学時代に情報工学を学んでいたことで、プログラムなどの知識が身につき、営業の仕事にも役立っています。社内には電気電子工学を学んだ人も多く、お互いに助け合って仕事をしています。営業は『自分を売る仕事』です。コミュニケーションを自ら取るうとする姿勢がある人に向いていると思います！」

ありがとうございました。



22歳

↓

23歳

↓

26歳

自分史

マスプロ電気に入社。学生時代の経験を買賣れ情報システム部門に配属。

IoT営業部でお客様の悩みをRFIDやLPWAといった電波を使った技術で解決する仕事に挑む。

お客様との対話を何より大切にしながら、営業成績UPにも励む日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



※1 電波を使ってRFタグ(ICタグ)の情報を非接触で読み書きする技術。自動レジなどにも採用されている技術。

※2 離れた場所にあるセンサー情報を少ない電力で長距離のデータ通信ができる技術。スマート農業への活用もされている。

製造現場と話し合い、物事を推し進める
コミュニケーション力が必要な仕事。



服部 将基 さん (1996年生まれ)

愛知県立西春高校 出身
名古屋大学 大学院工学研究科修了

日本特殊陶業株式会社

名古屋市東区東桜1-1-1アーバンネット名古屋ネクスタビル
<https://www.ngkntk.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学・大学院を卒業→セラミックスを扱う企業に就職→生産技術に関わる部署に配属

——学生時代

「勉強8割 部活2割の高校生活でした。化学が好きだったので、大学は工学部に進学。名古屋大学で化学・生物工学科を専攻しました」

大学時代のことを教えてください。

「化学の法則や原理、詳しいメカニズムなど、高校教育よりもさらに深掘りした内容を学びました。勉強以外ではよさこい踊りのサークルに所属。『つぼんど真ん中祭り』にも参加しました。もっと研究がしたくて、大学卒業後は大学院に進学。コンクリートやガラス、セラミック(陶磁器)などを扱う無機化学の研究室で、まだ研究段階の新素材の可能性を探る日々を送っていました」

——仕事について

「昔から知っていた地元の大きな企業で、学びをいかした技術系の仕事ができたらと思い、日本特殊陶業に入社。1ヶ月半ほど新入社員研修を受けた後に配属されたのは、オフィスビルや工場などに使用されている10m×3m×3mほどの大きさの燃料電池に関わる部署でした」

新人時代のことを教えてください。

「扱う製品は、燃料電池の主要部分に数千本も使われる直径2cm・長さ2mほどの『円筒形セルスタック』というセラミック製電池。最初に取り組んだのは、円筒形セルスタックを輪切りにし、断面を拡大鏡を使って観察・分析することでした。何か問題が起きた場合、現物を見ることで、異物や歪み、表面を覆う膜の薄さなどの不具合が見つかるからです」

苦勞したことはありませんか？

「円筒形セルスタックは、筒状の棒にセラミックの溶剤を塗り、焼成して作られます。中でも一番のベースとなる棒の成形を担当した時、少しでも歪みや曲がりがあると後の工程すべてに関わるため、温度や湿度を常にモニタリングしながら、繊細に機械を操作していました」

現在の仕事内容を教えてください。

「円筒形セルスタックを量産するCECYS株式会社に在籍し、製造方法のルール作りに関わっています。不具合が発生した時の対応や、今後さらに生産力を高めるために、製造過程で余ったり歪んだりして無駄になってしまふセラミック粘土を、再利用できないかと検証しています」

——やりがい

「不具合に関する調査結果を発表し、上司に評価された時は嬉しいですね。また、指示されるまま業務をするただの作業になってしまふので、自分なりに背景や問題点、原因などを考え、どんな仕事にも意見を持って取り組むことで、やりがいを感ぜられると思っています」



——なるためには

「重要なのは2つのスキルです。ひとつは、化学や物理などの理料系の知識。高校から大学にかけて学びながら高めていけるものです。もうひとつは、製造現場の人と話し合い、物事を推し進めていくコミュニケーション力。ひとりではできない仕事ではないので、必ず必要なものです。また、僕自身は大学院で学んだ無機化学の知識や、研究室での実験器具の使い方、研究の進め方などが仕事の役に立っています。自分から主体的に動くアクションでスキルは身につきます。ぜひ挑戦してください」

ありがとうございました。



自分史

22歳 研究に打ち込むため大学院へ。無機化学のゼミで新素材の研究に挑戦。

↓

24歳 日本特殊陶業に就職。技術職として円筒形セルスタックの製造に関わる。

↓

25歳 仕事をコントロールし、グループをまとめる存在をめざし、業務に励む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



現地・現物・現人。直接現場に赴いて
話をすることを大切にしています。



山下 恵さん(1995年生まれ)

愛知県立高蔵寺高校 出身

愛知県立大学 外国語学部卒業

岡谷鋼機株式会社

名古屋市中区栄2-4-18

<https://www.okaya.co.jp/>

なるためには

●必要資格 / 特になし

●主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→商社・総合職に就
職→営業に配属

——学生時代

「小さなころから英語が好きで、海外留学に憧れていました。国公立大学を希望していたので、高校3年間、とにかく勉強を頑張りました。とは言え、センター試験前に友だちと雪合戦をして、先生に『風邪を引くぞ!』と本気で怒られたり、楽しい思い出もたくさんあります(笑)」。大学時代のことを教えてください。

「愛知県立大学外国語学部で、中国の言語・政治・経済・文化を学びました。1年間休学し、南京へ留学。外国人留学生たちの『自分をアピールする力』を目の当たりにし、日本人が世界で活躍するためには、もっと自分本位にならなければならないと実感しました。帰国後、日本の良いものを海外に届けたいという想いから、『地域ものづくり学生共同プロジェクト』に参加。鞆工房で大人向けランドセルの製品開発に携わり、日本の革製品の魅力を海外へも発信しました。メーカーを中心に就職活動をはじめましたが、次第に国内外問わず自分で商材を見つけてくることのできる商社に魅力を感じ、現在の職場である岡谷鋼機に就職しました」。

——仕事について

「入社してからの2ヶ月は、岡谷鋼機とは、商社とはを社内講義で学びつつ、子会社や当社倉庫等の現場へ赴き、商売の仕組みを覚えてもらいました。その後カナダで3ヶ月の語学研修がありました。帰国後、配属されたのは鉄鋼第二部。建築工事や土木工事に必要な鋼材をメーカーが

ら仕入れ、ゼネコン(総合建設業者)に卸すことが主な業務でした」。

新人のころ苦労したことは?

「仕入れ先が材料を納品したい日と、売り先が材料を必要とする日を調整する『デリバリー』という仕事を担当。ただの伝書鳩にならずに、いかに間に立って落とすところを見つけてるか。苦労しましたが、商社の営業としての基本を学びました」。

仕事内容を簡単に教えてください。

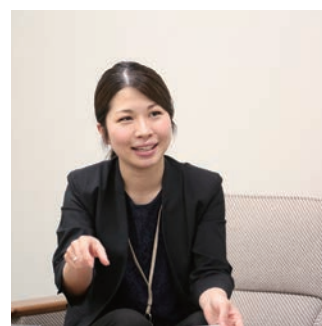
「現在、担当するお客様は約10社。お客様の予定している建築案件の情報を集め、材料の納期や価格などをお客様、仕入れ先双方と交渉しながら、納品から代金回収まで行います。また、最近は輸出も担当しており、海外のお客様と英語や中国語でやりとりしています」。

大切にしていることは何ですか?

「現地・現物・現人、直接現場に赴いて確認し、話をする。小さなことも対面できちんと話すことで、次の商売に気持ちよく繋がります」。

——やりがい

「お客様に『この物件を山下さんに



頼みたい」と言われると、頑張りが報われます。数ある商社の中から、選んでもらえることが嬉しいです」。

——なるためには

「商社の営業は、仕入れ先と売り先両方と良い関係を作らなければいけないので『愛されキャラ』だと良いですね!そうなるためには、自分のどこをアピールすれば相手に自分を好きになってももらえるか知っておくことが重要だと思います。言語やスケジューリング管理などのスキルは、働きながらでも培われるもの。学生時代は、いろんな経験を積むことを優先してください!」。

ありがとうございました。



23歳

↓

24歳

↓

26歳

海外勤務を目標に、岡谷鋼機に入社。カナダで3ヶ月の語学研修を経験。

仕入れ先と売り先の間で、商社営業としての自分の立ち位置に迷う日々。

国内の担当も増え、海外の仕事にも挑戦しながら、海外駐在員をめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



文系でもめざせる薬のスペシャリスト。
薬で「誰かの役に立てる」仕事です。



岩田 直樹 さん (1995年生まれ)

愛知県立春日井西高校 出身

愛知学院大学 法学部卒業

株式会社スギヤマ薬品

名古屋市中千種区内山2-13-9
https://sugiyama-club.jp/

なるためには

●必要資格 / 登録販売者
●主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→ドラッグストアに就職→実務経験を2年積みながら登録販売者の試験に合格→登録販売者として、医薬品の販売・店舗運営を担う

——学生時代

「高校時代の一番の思い出は文化祭でクラス一丸となってダンスに取り組んだことです。僕は照明や音楽などで舞台を盛り上げる裏方でしたが、みんなで手に入れた成功体験は忘れられません。学生のころから、困っている人を放っておけないおせっかいなタイプだったので、『将来は誰かの役に立ちたい』と思い、漠然と公務員をめざしていました」

大学時代のことを教えてください。

「愛知学院大学法学部に進学し、憲法・民法・刑法・刑事訴訟法などを学びました。当時、花粉症で病院に通っていたのですが、ある同じ症状でも違う薬が処方されたことがありました。『同じ効能なのに違う薬があるなんて、薬って面白そう!』と好奇心がくすぐられ、文系でも薬に携われる仕事を探そうことに。登録販売者の仕事なら、接客のアルバイト経験もいかして『誰かの役に立てる』と思い、方向転換。大学の就職センターに通い詰め、自己PRや面接の練習を重ねました」

——仕事について

「株式会社スギヤマ薬品に入社後、さまざまな研修を受けました。ビューティーアドバイザーにメイクをしてもらったり、紙オムツを実際に履いたり、殺虫剤を実際に使い比べたり、介護食を食べたり、漢方のお茶を飲み比べたり…。実体験重視の研修が多く、とても楽しい1ヶ月間でした。その後、それぞれの店舗に配属となりました」

新人時代のことを教えてください。

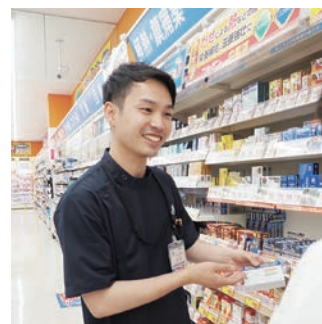
「品出しやレジの基本的な操作などの店舗業務を覚えながら、本社に通い登録販売者の試験のための勉強をしていました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「現在は、品出し、レジ対応、売り場づくりなどの店舗運営業務に加えて、登録販売者として医薬品の販売をしています。登録販売者は、薬剤師が扱う薬の一部を扱えるので、薬剤師の代わりにお客様の悩みや状況を伺い、症状にあった薬をご提案することが出来ます。登録販売者になるためには、試験の合格に加えて2年の実務経験が必要なので、僕が登録販売者として医薬品を一人でお客様にご提案できるようになったのは、24歳のときでした」

——やりがい

「お客様から笑顔で『ありがとう!』と言われたときは、とても嬉しいです。ドラッグストアには本場にさまざまな悩みをもったお客様が来店されるので、常に謙虚に、まずはお客様の状況をしっかりと聞くことを大切にしています」



——なるためには

「この仕事は、人とコミュニケーションをとることが好きで、ちょっとおせっかいで、好奇心旺盛な人に向いている職業だと思っています。登録販売者は、文系でもめざせる薬のスペシャリストです。試験合格と2年の実務経験が必要ですが、就職してから取得で問題ありません。学生時代からこの職業をめざしてできることといえば、薬の箱に書かれている成分・効能の表示をたくさん見ておくことでしょうか。好奇心をもつて薬の情報を集めてみるのが良いと思います!」

ありがとうございました。



22歳

↓

24歳

↓

26歳

薬に興味をもち、薬で「人の役に立ちたい」とスギヤマ薬品に入社。

試験合格と2年の実務経験を経て、晴れて「登録販売者」として一人立ち。

できるだけ多くの人に信頼される存在をめざし、日々の業務に励む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

